

経営比較分析表（令和6年度決算）

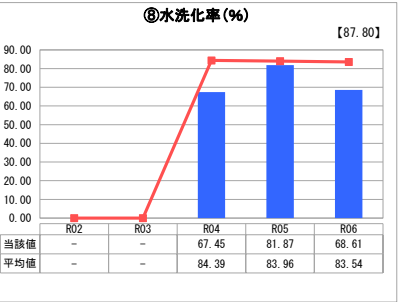
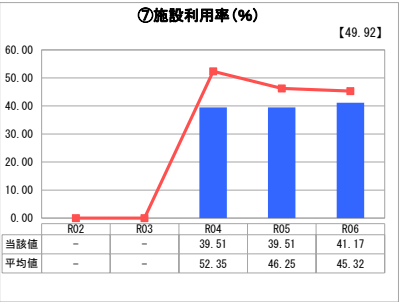
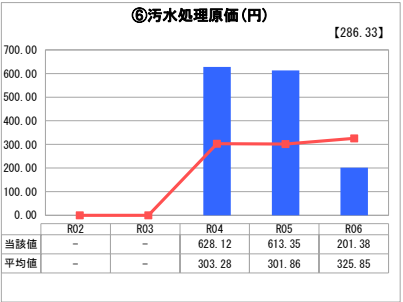
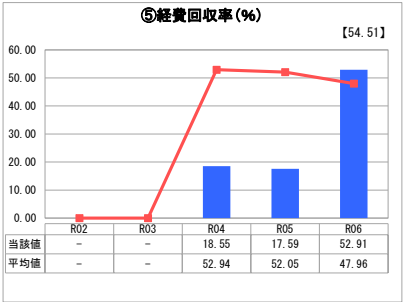
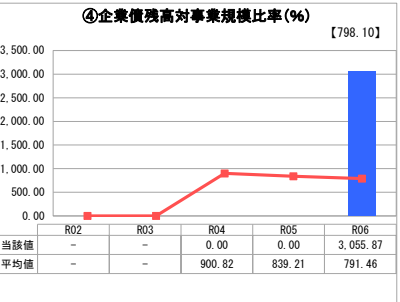
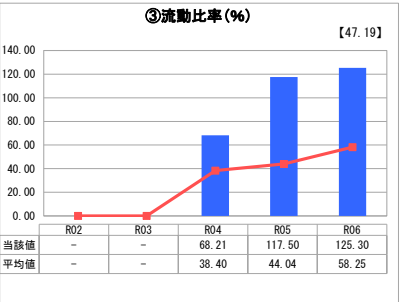
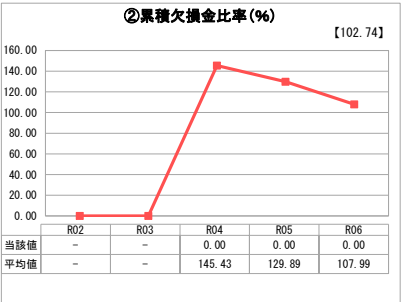
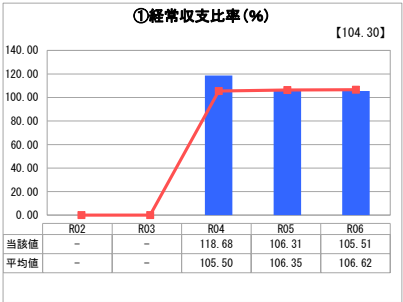
群馬県 榛東村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	68.78	34.00	113.21	2,200

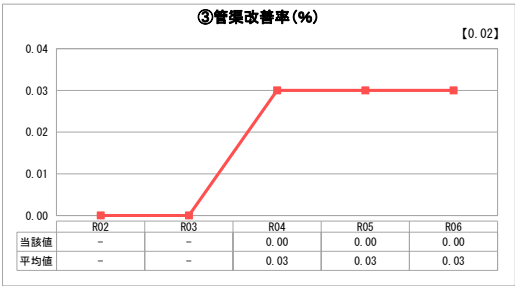
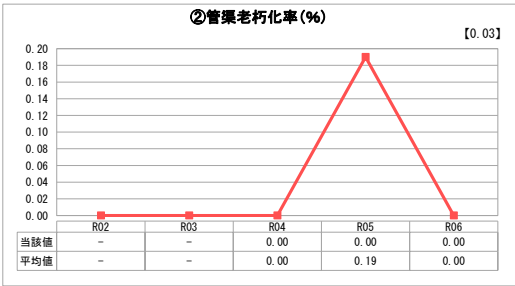
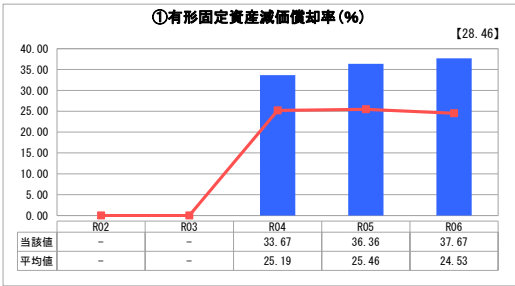
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
14,634	27.92	524.14
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
4,918	2.79	1,762.72

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値） — 類似団体平均値（平均値） 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率  
類似団体平均と同程度であるが、一般会計補助金に頼りがちである。使用料の確保と維持管理費の削減により、収支の健全化を図る必要がある。

③流動比率  
類似団体を上回り、令和5年度に比べ約8ポイント上がっている。今後も健全な事業運営に努めたい。

④企業価値高対事業規模比率  
類似団体と比較して高い状況である。管渠整備は完了しており、今後は減少していくと思われる。

⑤経費回収率  
類似団体と同程度であるが、100%を下回っており、経費を使用料でまかないきれていない状況であるため適正な使用料の水準について検討していく必要がある。

⑥汚水処理原価  
類似団体を下回っているが、使用料単価を上回っており、経費削減と適正な使用料の設定について検討の必要がある。

⑦施設利用率  
令和5年度に比べ約1.7ポイント上昇した。

⑧水洗化率  
平均値を下回っており、接続率の向上に向けた一層の取組が必要である。

2. 老朽化の状況について

令和5年度とほぼ変わらない状況である。また、耐用年数を超えたり、早急な老朽化対策が必要な管渠等はないが、将来に向け対策を講じておく必要があると思われる。

全体総括

今後、人口減少などにより使用料収入も横ばいまたは減少するが、物価高騰により維持管理費は増加していくと思われ、ますます負担が大きくなっていく。

適正な使用料の水準について検討し、料金改定も視野にいれながら、維持管理費の削減に努め経営の健全化を図っていききたい。また、農業集落排水施設のあり方について検討していく必要があると思われる。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。